

SIIEJ2023 Session 4

「ポストコロナ禍における大学間国際プログラムの再構築と未来への展望」 報告

日時

7月20日(木) 10:40-12:00

発表者

近藤 佐知彦 (大阪大学 国際教育交流センター)

末松 和子 (東北大学 副理事、高度教養教育・学生支援機構)

仙石 祐 (信州大学 学術研究院 (総合人間科学系 (グローバル化推進センター)))

中野 遼子 (東北大学歯学研究科)

池田 佳子 (関西大学 国際部 グローバル教育イノベーション推進機構副機構長)

櫻井 勇介 (広島大学 教育学習支援センター)

参加人数

60名(対面)

報告者

櫻井勇介(広島大学 教育学習支援センター)

本文：

本セッションは、東北大学、信州大学、大阪大学が、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の流行により変化した大学間国際プログラムの実践について共有し、セッション聴衆参加者も含め情報交換を行うことを目的として開催されました。COVID-19 の流行により、学生は物理的に移動することなく、オンラインまたはハイブリッドの国際プログラムに参加し、交流や学習を行うようになりました。これにより、異なる所属機関の学生が相互にリモートで共同プロジェクトを行う Collaborative Online International Learning (COIL) プログラムが広がりました。しかし、COVID-19 による実質的な制度的制約がほとんど解かれた現在、各機関に限られた人的、金銭的リソースの中、新旧の国際プログラムをどのように再構築しているのかは限定的な知見しか得られていませんでした。参加者との情報交換では、これら発表を踏まえ、ポストコロナ時代の大学間交換留学プログラムの特徴や課題について認識を共有しました。